# **SIEMENS**

# はじめに

寸法図

	文書へのご案内	1
	製品概要	2
SIMATIC	BU15-P16+A10+2D	3
ET 200SP BaseUnits (6ES7193-6BP)	BU15-P16+A0+2D	4
Dadoonilo (olor 100 obi)	BU15-P16+A10+2B	5
マニュアル	BU15-P16+A0+2B	6
	BU15-P16+A0+12D/T	7
	BU15-P16+A0+2D/T	8
	BU15-P16+A0+12B/T	9
	BU15-P16+A0+2B/T	10

#### 法律上の注意

#### 警告事項

本書には、ユーザーの安全性を確保し製品の損傷を防止するうえ守るべき注意事項が記載されています。ユーザーの安全性に関する注意事項は、安全警告サインで強調表示されています。このサインは、物的損傷に関する注意事項には表示されません。

### **一**危険

回避しなければ、直接的な死または重傷に至る危険状態を示します。

### 警告

回避しなければ、死または重傷に至るおそれのある危険な状況を示します。

### 注意

回避しなければ、軽度または中度の人身傷害を引き起こすおそれのある危険な状況を示します(安全警告サイン付き)。

#### 注意

回避しなければ、物的損傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示します(安全警告サインなし)。

#### 通知

回避しなければ、望ましくない結果や状態が生じ得る状況を示します(安全警告サインなし)。

複数の危険レベルに相当する場合は、通常、最も危険度の高い(番号の低い)事項が表示されることになっています。安全警告サイン付きの人身傷害に関する注意事項があれば、物的損傷に関する警告が付加されます。

#### 有資格者

本書が対象とする製品 / システムは必ず有資格者が取り扱うものとし、各操作内容に関連するドキュメント、特に安全上の注意及び警告が遵守されなければなりません。有資格者とは、訓練内容及び経験に基づきながら当該製品 / システムの取り扱いに伴う危険性を認識し、発生し得る危害を事前に回避できる者をいいます。

#### シーメンス製品を正しくお使いいただくために

以下の事項に注意してください。

### 警告

シーメンス製品は、カタログおよび付属の技術説明書の指示に従ってお使いください。他社の製品または部品との併用は、弊社の推奨もしくは許可がある場合に限ります。製品を正しく安全にご使用いただくには、適切な運搬、保管、組み立て、据え付け、配線、始動、操作、保守を行ってください。ご使用になる場所は、許容された範囲を必ず守ってください。付属の技術説明書に記述されている指示を遵守してください。

#### 商標

®マークのついた称号はすべて Siemens AG の商標です。本書に記載するその他の称号は商標であり、第三者が自己の目的において使用した場合、所有者の権利を侵害することになります。

### 免責事項

本書のハードウェアおよびソフトウェアに関する記述と、実際の製品内容との一致については検証済みです。 しかしなお、本書の記述が実際の製品内容と異なる可能性もあり、完全な一致が保証されているわけではありません。 記載内容については定期的に検証し、訂正が必要な場合は次の版て更新いたします。

# はじめに

### 本書の目的

このデバイスマニュアルは、システムマニュアルET 200SP分散型I/Oシステム (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/58649293)を補完します。 ET 200SPと一般的に関連する機能については、ET 200SP分散型I/Oシステムのシステムマニュアルに記載されています。

このマニュアルとシステムマニュアルの情報を使って、ET 200SP システムをコミッショニングすることができます。

# 目次

	はじめに		3
1	文書への	)ご案内	7
2	製品概要	#	9
3	BU15-P	16+A10+2D	11
	3.1	製品概要	11
	3.2	接続	13
	3.3	技術データ	15
4	BU15-P	16+A0+2D	17
	4.1	製品概要	17
	4.2	接続	19
	4.3	技術データ	20
5	BU15-P	16+A10+2B	21
	5.1	製品概要	21
	5.2	接続	22
	5.3	技術データ	24
6	BU15-P	16+A0+2B	25
	6.1	製品概要	25
	6.2	接続	26
	6.3	技術データ	27
7	BU15-P	16+A0+12D/T	29
	7.1	製品概要	29
	7.2	接続	31
	7.3	技術データ	33
8	BU15-P	16+A0+2D/T	35
	8.1	製品概要	35
	8.2	接続	37
	8.3	技術データ	38

9	BU15-P1	16+A0+12B/T	39
	9.1	製品概要	39
	9.2	接続	40
	9.3	技術データ	42
10	BU15-P	16+A0+2B/T	43
	10.1	製品概要	43
	10.2	接続	45
	10.3	技術データ	46
Α	寸法図		47

文書へのご案内

### 概要

以下のセクションでは、BaseUnit を使用する際に必要な上記以外の文書の概要を示します。

# BaseUnit を含む ET 200SP 分散型 I/O システムに関する文書

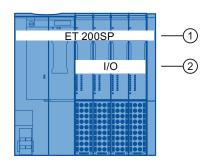


図 1-1 システム構造の例

表 1-1 BaseUnit を含む ET 200SP 分散型 I/O システムに関する文書

番号	コンポーネ ント	文書	最も重要な内容
1	システム	システムマニュアル ET 200SP 分散型I/Oシステム (http://support.automation.sieme ns.com/WW/view/en/58649293)	<ul><li>利用計画</li><li>取り付け</li><li>接続</li><li>コミッショニング</li></ul>
2	1/0	デバイスマニュアル I/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)	<ul> <li>接続</li> <li>パラメータ割り付け/アドレス指定</li> <li>割り込み、エラーおよびシステムメッセージ</li> <li>技術仕様</li> <li>寸法図</li> </ul>

製品概要 2

# BaseUnit の一般的プロパティ

分散型 I/O システムでは、さまざまな BaseUnit を使用できます。 とりわけ、BaseUnit によって、プロセス接続、プラグ接続可能な I/O モジュール、電源電圧供給が決まります。 すべてのプロパティは、以下で説明する BaseUnit の短い呼称によって識別できます。

### 表 2-1 BaseUnit のプロパティ

短い呼称 BU15-P16+A10+	2D/T(	(例)	BaseUnit プロパティ
モジュール幅	BU	15	BaseUnit の幅は 15 mm
プロセス接続	Р	16	・ 接続技術: 押し込み端子
			<ul><li>I/O モジュールの端子数:例えば 16</li></ul>
AUX 母線との接続	Α	0	AUX 母線との接続なし
		10	n = AUX 端子の数、例えば 10
電源母線	2		電源母線 P1、P2(D、B を参照)を通して供給電圧を供給または分岐取得するための 2 つの押し込み端子(L+、接地)
	12		<ul> <li>電源母線 P1、P2 (D、Bを参照)を通して供給電圧を供給または分岐取得するための2つの押し込み端子(L+、接地)</li> <li>最大供給電流24 V DC/10 A までの追加電位を接続するための2×5 押し込み追加端子(1B~5B、1C~5C)</li> </ul>
	0		電源母線 P1、P2 にアクセスする端末なし
		D	• 新しい電位グループを開く
			• 最大供給電流 24 V DC/10 A までの供給電圧の供給
		В	• 電位グループとの伝導性の追加
			• 外付け構成部品への供給電圧を分岐取得するか、電位グループ毎に最大合計電流 24 V DC/10 A でループ化する
その他の機能	Т		熱電対の基準接点温度を補償するための一体型温度センサー

### BaseUnit の選択、設置および接続

システム説明*分散型 I/O システム ET 200SP を参照してください* 

# **警**告

24 V DC よりも高い定格電源電圧を BaseUnit に接続すると、プラント内が危険な状況になる、あるいは ET 200SP コンポーネントの故障を引き起こす可能性があります。これは、人身傷害の原因になることがあります。

そのため、BaseUnit には、指定された定格電源電圧 24 V DC のみを接続します。接続した定格電源電圧は、電位グループの I/O モジュールの定格電源電圧に対応する必要があります。

BU15-P16+A10+2D

# 3.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP20-0DA0

図示



図 3-1 BaseUnit BU15-P16+A10+2D

#### 3.1 製品概要

### プロパティ

- BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A0/A1」のすべての I/O モジュールに適しています。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。
  - 電源電圧(L+端子、接地): 最大 24 V DC/10 A
  - プロセス端子(端子 1~16) 当たりの電流通電容量: 最大 2 A
- BaseUnit によって、新しい電位グループが開かれます。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線が、左側の隣接モジュール (BaseUnit、インターフェイスモジュール) から切断されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセス
- プロセスへの 16 端子 (I/O モジュールを介して割り付け)
- 保護導体または電位に接続するための 10 の AUX 端子 AUX 母線は I/O モジュール に接続されません。
- 押し込み端子の方式での接続技術

### 電位グループ毎の最大構成

電位グループ毎に使用できる I/O モジュールの数は、以下の要因によって異なります。

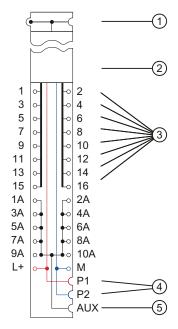
- 1. この電位グループ上で作動するすべての I/O モジュールの合計必要電力量
- 2. この電位グループに外部接続されているすべての負荷の合計必要電力量
- 1と2の合計から計算した合計電流は、10Aを超えてはなりません。

# ピン割り付け

### 表 3-1 BaseUnit BU15-P16+A10+2D のためのピン割り付け

BaseUnit BU15-P16+A10+2D のためのピン割り付け		
端子	説明	
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を 参照してください。	
AUX(1A~10A):10 A ま で	保護導体接続または電位母線(24 V DC まで使用可能)	
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地	

### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ I/O モジュールへの接続端子
- ④ 接続されていない、電源用端子への接続電源母線
- ⑤ 接続されていない、端子への接続 AUX 母線

図 3-2 回路概略図 BU15-P16+A10+2D

# 技術仕様

表 3- 2 技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A10+2D

外形寸法と重量	
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 141 x 35
重量	約 49 g
電圧、電流、電位	
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC
• 逆極性保護	なし
• 過電圧保護	あり
外部自動回路遮断器による保護	あり、トリガ特性 B、C
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A
• 短絡保護	なし
絶縁	
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり
<ul><li>電位グループ間</li></ul>	あり
絶縁テスト電圧	707 V DC

BU15-P16+A0+2D

# 4.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP00-0DA0

図示



図 4-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2D

#### 4.1 製品概要

### プロパティ

- BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A0/A1」のすべての I/O モジュールに適しています。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。
  - 電源電圧(L+端子、接地): 最大 24 V DC/10 A
  - プロセス端子(端子1~16) 当たりの電流通電容量:最大2A
- BaseUnit によって、新しい電位グループが開かれます。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線が、左側の隣接モジュール (BaseUnit、インターフェイスモジュール) から切断されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
- プロセスへの 16 端子 (I/O モジュールを介して割り付け)
- 押し込み端子の方式での接続技術

### 電位グループ毎の最大構成

電位グループ毎に使用できる I/O モジュールの数は、以下の要因によって異なります。

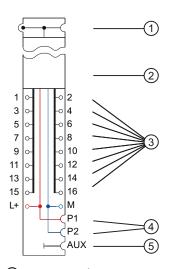
- 1. この電位グループ上で作動するすべての I/O モジュールの合計必要電力量
- 2. この電位グループに外部接続されているすべての負荷の合計必要電力量
- 1と2の合計から計算した合計電流は、10Aを超えてはなりません。

### ピン割り付け

表 4-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2D のためのピン割り付け

BaseUnit のピン割り付け BU15-P16+A0+2D	
端子	説明
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール ( <a href="http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300">http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300</a> )を参照してください。
AUX	端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地

### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ I/O モジュールへの接続端子
- ④ 接続されていない、電源用端子への接続電源母線
- ⑤ 接続されていない、端子に未接続の AUX 母線
- 図 4-2 回路概略図 BU15-P16+A0+2D

# 4.3 技術データ

# 技術仕様

表 4-2 技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A0+2D

外形寸法と重量	
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 117 x 35
重量	約 39 g
電圧、電流、電位	
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC
• 逆極性保護	なし
• 過電圧保護	あり
外部自動回路遮断器による保護	あり、トリガ特性 B、C
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A
• 短絡保護	なし
絶縁	
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり
• 電位グループ間	あり
絶縁テスト電圧	707 V DC

BU15-P16+A10+2B

# 5.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP20-0BA0

図示



図 5-1 BaseUnit BU15-P16+A10+2B

### プロパティ

- BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A0/A1」のすべての I/O モジュールに適しています。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。
  - プロセス端子(端子 1~16) 当たりの電流通電容量:最大 2 A
- BaseUnit はさらに電位グループと導通します。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線は、 左側の隣接モジュール(BaseUnit)に接続されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセス
- プロセスへの 16 端子 (I/O モジュールを介して割り付け)
- 保護導体または電位に接続するための 10 の AUX 端子 AUX 母線は I/O モジュール に接続されません。
- 押し込み端子の方式での接続技術

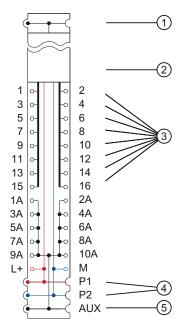
### 5.2 接続

### ピン割り付け

#### 表 5-1 BaseUnit BU15-P16+A10+2B のためのピン割り付け

BaseUnit BU15-P16+A10+2B のためのピン割り付け	
端子	説明
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を参照してください。
AUX (1A~10A) : 10 A まで	AUX: 保護導体接続または電位母線(24 V DC まで使用可能)
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地

### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ I/O モジュールへの接続端子
- ④ 接続されている、端子に接続済みの電源母線
- ⑤ 接続されている、端子に接続済みの AUX 母線

図 5-2 回路概略図 BU15-P16+A10+2B

# 5.3 技術データ

# 技術仕様

表 5- 2 技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A10+2B

外形寸法と重量	
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 141 x 35
重量	約 49 g
電圧、電流、電位	
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A
絶縁	
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり
• 電位グループ間	なし
絶縁テスト電圧	707 V DC

BU15-P16+A0+2B

# 6.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP00-0BA0

図示



図 6-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2B

# プロパティ

- BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A0/A1」のすべての I/O モジュールに適しています。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。
  - プロセス端子 (端子 1~16) 当たりの電流通電容量:最大 2 A
- BaseUnit はさらに電位グループと導通します。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線は、 左側の隣接モジュール(BaseUnit)に接続されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
- プロセスへの 16 端子 (I/O モジュールを介して割り付け)
- 押し込み端子の方式での接続技術

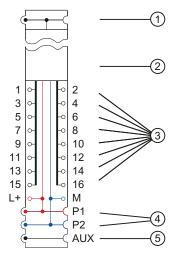
### 6.2 接続

### ピン割り付け

#### 表 6-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2B のためのピン割り付け

BaseUnit BU15-P16+A0+2B のためのピン割り付け	
端子	説明
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を参照してください。
AUX	端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地

### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ I/O モジュールへの接続端子
- ④ 接続されている、端子に接続済みの電源母線
- ⑤ 接続されている、端子に未接続の AUX 母線
- 図 6-2 回路概略図 BU15-P16+A0+2B

# 6.3 技術データ

### 技術仕様

表 6-2 BaseUnit BU15-P16+A0+2B の技術仕様

外形寸法と重量		
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 117 x 35	
重量	約 40 g	
電圧、電流、電位		
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC	
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A	
絶縁		
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり	
• 電位グループ間	なし	
絶縁テスト電圧	707 V DC	

BU15-P16+A0+12D/T

# 7.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP40-0DA1

図示



図 7-1 BaseUnit BU15-P16+A0+12D/T

#### 7.1 製品概要

### プロパティ

BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A1」のすべての I/O モジュール用。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。

### 注記

他の I/O モジュールを使用すると、内部の交換不可ヒューズをトリガすることがあり、端子箱を交換する必要があります。

- 電源電圧(L+端子、接地): 最大 10 A
- プロセス端子(端子1~16) 当たりの電流通電容量:最大2A
- BaseUnit によって、新しい電位グループが開かれます。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線が、左側の隣接モジュール (BaseUnit、インターフェイスモジュール) から切断されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
- プロセスへの 16 端子(I/O モジュールを介して割り付け)
- 24 V DC/10 A までの電源電圧を供給するための 2×5 の追加端子。 追加端子は I/O モジュールに接続されません。
- 接続済み熱電対の内部温度補償のための端子温度の記録
- 押し込み端子の方式での接続技術

#### 電位グループ毎の最大構成

電位グループ毎に使用できる I/O モジュールの数は、以下の要因によって異なります。

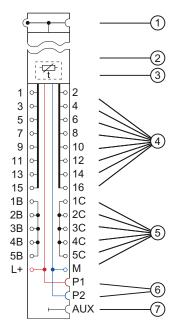
- 1. この電位グループ上で作動するすべての I/O モジュールの合計必要電力量
- 2. この電位グループに外部接続されているすべての負荷の合計必要電力量
- 1と2の合計から計算した合計電流は、10Aを超えてはなりません。

# ピン割り付け

### 表 7-1 BaseUnit BU15-P16+A0+12D/T のためのピン割り付け

BaseUnit BU15-P16+A0+12D/T のためのピン割り付け		
端子	説明	
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を参照してください。	
1B~5B、1C~5C	24 V DC まで、最大 10 A の電源電圧を供給するための 2×5 の追加端子	
AUX	端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし	
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地	

### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ 温度補償のための内部基準接点
- ④ I/O モジュールへの接続端子
- ⑤ 追加電源電圧を供給するための追加端子
- ⑥ 接続されていない、電源用端子への接続電源母線
- ⑦ 接続されていない、端子に未接続の AUX 母線

図 7-2 回路概略図 BU15-P16+A0+12D/T

# 技術仕様

表 7- 2 技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A0+12D/T

外形寸法と重量		
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 141 x 35	
重量	約 49 g	
電圧、電流、電位		
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC	
• 逆極性保護	なし	
• 過電圧保護	あり	
外部自動回路遮断器による保護	あり、トリガ特性 B、C	
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A	
• 短絡保護	なし	
絶縁		
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり	
• BaseUnit ∅ BU ···D 間	あり	
絶縁テスト電圧	707 V DC	
センサ選択のためのデータ		
温度補償	あり、内部1	

<sup>1</sup> BaseUnit に内蔵されている温度センサー経由 BaseUnit

BU15-P16+A0+2D/T

# 8.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP00-0DA1

図示



図 8-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2D/T

#### 8.1 製品概要

### プロパティ

BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A1」のすべての I/O モジュール用。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。

### 注記

他の I/O モジュールを使用すると、内部の交換不可ヒューズをトリガすることがあり、端子箱を交換する必要があります。

- 電源電圧(L+端子、接地): 最大 10 A
- プロセス端子(端子1~16) 当たりの電流通電容量:最大2A
- BaseUnit によって、新しい電位グループが開かれます。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線が、左側の隣接モジュール (BaseUnit、インターフェイスモジュール) から切断されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
- プロセスへの 16 端子(I/O モジュールを介して割り付け)
- 接続済み熱電対の内部温度補償のための端子温度の記録
- 押し込み端子の方式での接続技術

### 電位グループ毎の最大構成

電位グループ毎に使用できる I/O モジュールの数は、以下の要因によって異なります。

- 1. この電位グループ上で作動するすべての I/O モジュールの合計必要電力量
- 2. この電位グループに外部接続されているすべての負荷の合計必要電力量
- 1と2の合計から計算した合計電流は、10Aを超えてはなりません。

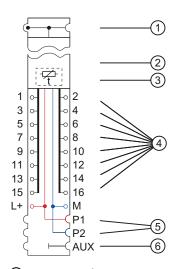
## 8.2 接続

## ピン割り付け

表 8-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2D/T のためのピン割り付け

BaseUnit BU15-P16+A0+2D/T のためのピン割り付け		
端子	説明	
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を参照してください。	
AUX	端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし	
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地	

#### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ 温度補償のための内部基準接点
- ④ I/O モジュールへの接続端子
- ⑤ 接続されていない、電源用端子への接続電源母線
- ⑥ 接続されていない、端子に未接続の AUX 母線

図 8-2 回路概略図 BU15-P16+A0+2D/T

8.3 技術データ

# 8.3 技術データ

## 技術仕様

表 8- 2 技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A0+2D/T

外形寸法と重量				
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 117 x 35			
重量	約 39 g			
電圧、電流、電位				
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC			
• 逆極性保護	なし			
• 過電圧保護	あり			
外部自動回路遮断器による保護	あり、トリガ特性 B、C			
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A			
• 短絡保護	なし			
絶縁				
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり			
• 電位グループ間	あり			
絶縁テスト電圧	707 V DC			
センサ選択のためのデータ				
温度補償	あり、内部1			

<sup>1</sup> BaseUnit に内蔵されている温度センサー経由 BaseUnit

BU15-P16+A0+12B/T

# 9.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP40-0BA1

図示



図 9-1 BaseUnit BU15-P16+A0+12B/T

#### 9.2 接続

#### プロパティ

● BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A1」のすべての I/O モジュールに適しています。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。

#### 注記

他の I/O モジュールを使用すると、内部の交換不可ヒューズをトリガすることがあり、端子箱を交換する必要があります。

- プロセス端子(端子 1~16) 当たりの電流通電容量:最大2A
- BaseUnit はさらに電位グループと導通します。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線は、 左側の隣接モジュール (BaseUnit) に接続されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
- プロセスへの 16 端子 (I/O モジュールを介して割り付け)
- 24 V DC/10 A までの電源電圧を供給するための 2×5 の追加端子。 追加端子は I/O モジュールに接続されません。
- 接続済み熱電対の内部温度補償のための端子温度の記録
- 押し込み端子の方式での接続技術

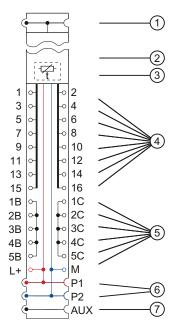
## 9.2 接続

#### ピン割り付け

#### 表 9-1 BaseUnit BU15-P16+A0+12B/T のためのピン割り付け

BaseUnit のピン割り付け BU15-P16+A0+12B/T		
端子	説明	
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を参照 してください。	
1B~5B、1C~5C	24 V DC まで、最大 10 A の電源電圧を供給するための 2×5 の追加端子	
AUX	端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし	
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地	

### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ 温度補償のための内部基準接点
- ④ I/O モジュールへの接続端子
- ⑤ 追加電源電圧を供給するための追加端子
- ⑥ 接続されている、端子に接続済みの電源母線
- ⑦ 接続されている、端子に未接続の AUX 母線
- 図 9-2 回路概略図 BU15-P16+A0+12B/T

9.3 技術データ

# 9.3 技術データ

## 技術仕様

表 9- 2 技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A0+12B/T

外形寸法と重量				
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 141 x 35			
重量	約 49 g			
電圧、電流、電位				
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC			
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A			
絶縁				
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり			
• 電位グループ間	なし			
絶縁テスト電圧	707 V DC			
センサ選択のためのデータ				
温度補償	あり、内部1			

<sup>1</sup> BaseUnit に内蔵されている温度センサー経由 BaseUnit

BU15-P16+A0+2B/T 10

# 10.1 製品概要

注文番号

6ES7193-6BP00-0BA1

図示



図 10-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2B/T

#### 10.1 製品概要

### プロパティ

● BaseUnit であり、BaseUnit タイプ「A1」のすべての I/O モジュールに適しています。 注文番号の最後の 2 桁で識別できます。

#### 注記

他の I/O モジュールを使用すると、内部の交換不可ヒューズをトリガすることがあり、端子箱を交換する必要があります。

- プロセス端子(端子 1~16) 当たりの電流通電容量:最大2A
- BaseUnit はさらに電位グループと導通します。 電源母線 P1、P2 と AUX 母線は、 左側の隣接モジュール (BaseUnit) に接続されます。
- 端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし
- プロセスへの 16 端子 (I/O モジュールを介して割り付け)
- 接続済み熱電対の内部温度補償のための端子温度の記録
- 押し込み端子の方式での接続技術

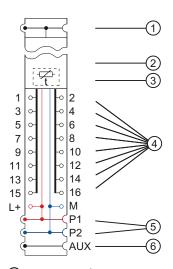
## 10.2 接続

### ピン割り付け

表 10-1 BaseUnit BU15-P16+A0+2B/T のためのピン割り付け

BaseUnit BU15-P16+A0+2B/T のためのピン割り付け		
端子	説明	
1~16	割り付けはI/Oモジュールで決まります。 デバイスマニュアルI/Oモジュール (http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/55679691/133300)を参照してください。	
AUX	端子を経由した AUX 母線へのアクセスなし	
L+ (P1)、接地(P2)	L+: 定格電源電圧 24 V DC、最大 10 A 接地:接地	

#### 回路概略図



- ① バックプレーンバス
- ② 1/0 モジュール
- ③ 温度補償のための内部基準接点
- ④ I/O モジュールへの接続端子
- ⑤ 接続されている、端子に接続済みの電源母線
- ⑥ 接続されている、端子に未接続の AUX 母線
- 図 10-2 回路概略図 BU15-P16+A0+2B/T

10.3 技術データ

# 10.3 技術データ

## 技術仕様

表 10-2 以下の技術仕様 BaseUnit BU15-P16+A0+2B/T

外形寸法と重量				
外形寸法 W x H x D (mm)	15 x 117 x 35			
重量	約 39 g			
電圧、電流、電位				
定格電源電圧(L+、接地)	24 V DC			
最大電流通電容量(最高 60°C)	10 A			
絶縁				
• 定格電源電圧とバックプレーンバス間	あり			
• 電位グループ間	なし			
絶縁テスト電圧	707 V DC			
センサ選択のためのデータ				
温度補償	あり、内部1			

<sup>1</sup> BaseUnit に内蔵されている温度センサー経由 BaseUnit

# 寸法図



## 寸法図 BU15-P16+A10+2D、BU15-P16+A10+2B、BU15-P16+A0+12D/T、BU15-P16+A0+12B/T

プラグイン I/O モジュール付き BU15-P16+A10+2D の寸法図を、例として以下に示します。

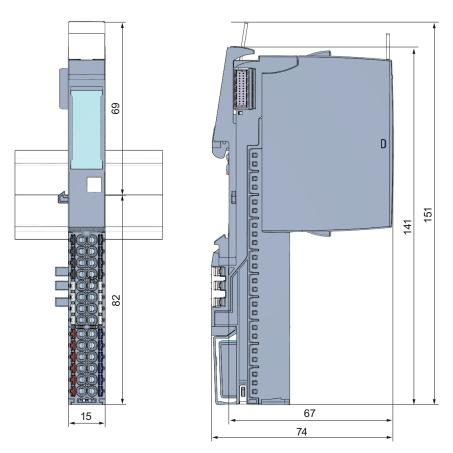


図 A-1 寸法図 BU15-P16+A10+2D

## 寸法図 BU15-P16+A0+2D、BU15-P16+A0+2B、BU15-P16+A0+2D/T、 BU15-P16+A0+2B/T

プラグイン I/O モジュール付き BU15-P16+A0+2D の寸法図を、例として以下に示します。

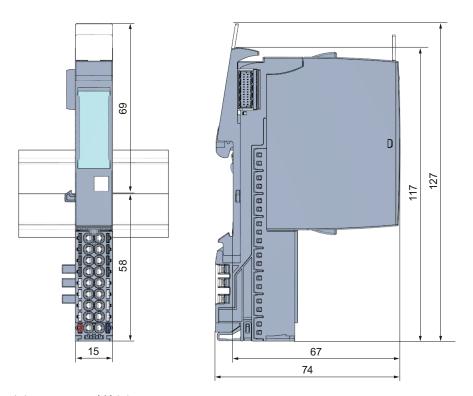


図 A-2 寸法図 BU15-P16+A0+2D